

やいづ みちびき

第45号

令和7年3月1日発行

発行責任者

焼津警察署少年警察ボランティア連絡会
焼津警察署管内
少年警察協助員 少年指導委員

事務局

焼津警察署生活安全課
TEL 624-0110

焼津警察署少年警察ボランティア連絡会

会長あいさつ



焼津警察署少年警察
ボランティア連絡会会長
青木 茂久

この連絡会は、焼津市内の有志がボランティアで活動している組織です。毎月第三金曜日に焼津警察署で定例会を開き、青少年のことについて意見交換をしています。さらに焼津市内の行事などへの補導活動の仕方を検討します。その後市内の見回り活動を行います。

市内の諸行事では、青少年の健全な生活をサポートする声掛けを心がけます。最近気になることは駐輪している自転車の無施錠です。大切な自転車ですので施錠を確実にしてください。連絡会の中で、「子ども達にどうやって声をかけたらいいのか？」という話が話題になりました。「会員自身が日頃あまり子どもに接したことがないこと」「マスクミがと

署長あいさつ



焼津警察署長
菊地 邦宏

焼津警察署少年警察ボランティア連絡会の皆様におかれましては、平素から、夜間補導や社会参加活動支援など、地域若者らの健全育成に尽力いただき、こころより感謝申し上げます。

令和六年度警察白書によれば、全国の少年非行は、令和三年から二年連続で増加し、令和五年中の全国刑法犯少年の検挙人員は一万八九四九人でした。この期間、焼津市も少年事件は増加し、令和五年中に十九人の刑法犯少年を検挙しています。

少年非行は、戦後から時代背景を映し出す鏡として変化を続けてきました。平成十二年ころ社会は先の見えない構造的不況に陥り、失業率は急増し、自殺者は三万人を超えました。そうした混沌とする社会のなかで、一部の青少年らはネット社会の中で屈折した攻撃性を帯びながら、アメーバ状の不規則な集団を形成して、リーダーを定めずに希薄な人間関係を維持しながらもグループの動きに影響

を受けやすい特性を持つようになり現在に至ります。ネット社会における誹謗中傷、闇バイトによる少年の凶悪犯罪がその一例といえると思います。

青少年被疑者の事件を捜査する中で感じることは、いつの時代も非行の要因には「社会からの孤独」があるということです。

そうしたことから、焼津警察署は、学校や関係機関・団体と緊密に連携を図り種々の警察活動を通じて「非行少年を生まない社会づくり」に取り組んでいきます。

また、焼津警察署少年警察ボランティア連絡会の皆様が熱心に行っていたいております街頭補導や早朝座禅、ビーチクリーン作戦などの社会参加型活動は、少年の健全育成に欠かせない重要な施策で高い成果を挙げているものと確信しています。

皆様には、引き続きそれら諸活動の継続と少年非行防止活動に御協力くださいますようお願いいたします。

■ 自然の豊かさを教わった

焼津西小学校 五年 青木 太希

初めに、お寺の中でお坊さんから
ざゼんの仕方を教わりました。みん
なが静かにしているおかげで色々
音が聞こえたよ。たとえばセミの
声、風の音・・・ざゼんをしながら
お坊さんからあることを教えてもら
いました。それはいくら人間でも自然
は作れないということです。

ざゼんの後、おかゆを食べました。
お湯を入れて温めてあったのでね
ちよねちよよしていました。

その後外に出て、おじちゃんたち
やおばちゃんたちからいろいろな遊
びを教えてもらいました。相手のベツ
タンをうら返して取るのがおもしろ
かったです。

帰る時、遊びに来た子たちが「楽
しかった。また来年も行きたい。」と
言っていました。ほくもまた行きた
いです。



早朝座禅の様子



コマ回し

早朝座禅
七月二十八日



空き缶積み



将棋



折り紙物入れ作り



べったん (メンコ)

■ 座禅後のレクリエーション

■ 座禅後のレクリエーション

少年警察協働員 赤石 琢也

私は昔ながらのコマ回しを担当しまし
た。コマのおもちや「ベイブレード」が
流行しているので興味をもち、私のとこ
ろに近付いてきました。最初に私の所に
来た子は、幼稚園のころに教わったと
ことで久々に投げ、うまく回り気分がよ
さそうでした。ひもを巻くのがきこちな
く時間がかかっていたので、私がひもを
どんどん巻いて渡し、たくさん投げられ
るようにしました。やったことのない子
には「まずは三回投げてみよう。」と声を
かけ、ひもを巻いたコマを作ってあげま
した。ひものコマはコツをつかむのがむ
ずかしいけど、十回くらい投げると大体
一回は成功しました。三回投げてアドバ
イスをして、また三回投げてと、飽きな
いように小さい目標を決めてやるとひよ
んなことで回って大喜びしていました。
こちらもうれしくなり一緒に喜びました。

小さい子には指で回すコマで遊んでも
らいました。いろんなコマを用意してき
たので子ども達は物珍しそうにしていま
した。
デジタルゲームの世の中ですが、体を
使ってやる遊びも子供たちには発見と学
びがあると思えました。また、できた時
の感激も良い思い出になったことでしょ
う。ちよつと自信がついたかな。コマを
通じて子ども達とふれあうことができ
て有意義でした。

おどろっかさい
第二十三回 踊夏祭
 七月十四日

少年指導委員 **吉田 鐵男**

今年の踊夏祭は、大井川開港六十周年記念事業に合わせたので、盛り沢山の催し物が企画されていきました。SKE 48のミニライブや大井川港トリアスロ大会、『太平洋の白鳥』と称される大型練習帆船「日本丸」の初寄港がありました。特設会場では熱のこもった各種団体・学生達の踊り、それと和太鼓保存会様の勇壮な太鼓披露がありました。陽が落ちた頃になって「日本丸」の夜間特別ライトアップや手筒花火保存会と和太鼓の共演など多くの来場者が楽しめた一日でした。

私たち少年警察協会員は、来場された老若男女の皆様方が安心・安全に参加できるように『声掛け』を行いました。「こんにちは（こんばんは）」「自転車の鍵は掛けてね。」「暗いから帰りは気を付けてね。」「子供たちからも「こんにちは、ハイ鍵は



掛けます。気を付けます。」と返事がきます。そんな返事を聞くと、「声掛け」は有意義だなと感じ、今後も更に『声掛け』を実践して、誰もが記憶に残る楽しい日々を過ごしてもらえよう努めたいと思います。来年以降も多くの来場者により更に盛大な踊夏祭になることを願っています。



焼津神社大祭
 八月十二、十三日

少年警察協会員 **小川 雄人**

八月十二日、十三日の焼津神社大祭の巡回指導を両日とも二班に分かれて実施しました。私は、十二日午後八時より一時間ほど見回りました。神社境内は露店



人出で大変にぎわっており、巡回中は不審行為などはなく、声掛けする事はありませんでした。

神社を巡回すると、少し薄暗くて人の出入りは少ないので防犯上心配になりました。駐輪場に置かれている自転車の施錠の有無を確認したところ、数台掛けてありませんでした。それ以外は特に問題はなく、後日無施錠の件は定例会で報告しました。概ね良好な結果となり活動を終了しました。コロナ禍前と比べて人出が戻ってきていると感じました。

大井川フェア
 十一月三日

少年警察協会員 **滝井 三清**

旧大井川町時代から私達は、毎年大井川フェア会場の一角で、防犯紙芝居を読む活動を続けてます。幼い子供が犠牲になる事件が繰り返し起きている昨今、幼児から小学校低学年の子ども達に「自分の身は自分で守る」ことの大切さを伝え

ていくことが必要だと考えています。

合言葉は「いかのおすし」。「ついでにいかない」「自転車ののらない」「おお声を出す」「すぐ逃げる」「しらせる」を常に意識させたいと考え、繰り返し呼び掛けています。少し大きい子には、クイズ形式で実際の場面はどう判断したらよいかを考えさせる活動も入れてみました。

今年、会場を見回して改めて気付いたことは、元気な年配の人は多いですが、子どもがとてもしないということでは、地域之宝です。地域全体で見守り、大事に育てていかなければならないとつくづく実感しました。



西宮神社祭典

十一月十九日

少年指導委員 鈴木 利治

十一月十九日に例年通りに西宮神社の祭典(おいべっさん)が開催され、午後八時より二班に分かれて巡回補導を実施しました。コロナ禍と比べると人出も増えてきているようにも感じられました。巡回してみても学生が乗ってきた自転車の



施設割合もそこそこよかったように思われました。また駅前通りの露店の出ている通りでも、変に座り込んでいる者や騒いでいるような者は見られず、落ち着いて巡回できたように思います。我々がベストを着用して巡回するだけでも市民が安心できるのではないかと思います。このような活動を今後も続けていけたらと思います。



会員の表彰

永年にわたり、少年の健全育成や、非行防止に尽力した会員に対して、関係団体より、表彰状が授与されましたので、ここにお知らせいたします。

生活安全部長表彰

少年警察協助力員 鈴木 孝昌

県連絡協議会会長表彰

少年警察協助力員 大石 勝久

県連絡協議会会長表彰

少年警察協助力員 大畑 勝啓

メンバー紹介

少年警察協助力員

- 佐藤 昌明(本町)
- 青木 茂久(八楠)
- 赤石 琢也(大村)
- 鈴木 孝昌(大住)
- 埴原 勇(一色)
- 鈴木 淳夫(小土)
- 小川 雄人(大島)
- 後藤 澄代(田尻北)
- 大石 勝久(本町)
- 大畑 勝啓(坂本)
- 滝井 三清(相川)
- 松下 喜和(藤守)
- 田中 義則(藤守)

少年指導委員

- 稲葉 彰紀(栄町)
- 吉田 鐵男(田尻)
- 向嶋 猛(柳新屋)
- 鈴木 利治(浜当目)
- 濱田 賢(大覚寺)



年間計画

- 五月 少年指導委員研修会
- 六月 総会
- 七月 夏季県下一斉補導 大井川踊夏祭
- 八月 焼津神社大祭補導
- 十月 会員研修会
- 十一月 西宮神社祭典補導 大井川フェア
- 十二月 冬季県下一斉補導
- 二月 ビーチクリーン作戦
- 三月 卒業式見守り活動



あとがき

機関紙「みちびき」は毎年一回発行しており、今年で四十五号となりました。発刊にあたってご協力いただいた皆様には、お礼申し上げます。

焼津警察署少年警察

ボランティア連絡会一同